

* 投稿者各位の原稿作成ならびに原稿提出の利便性を考慮し、講演原稿を PDF (Portable Document Format) 送付とします。

* 原稿作成ならびに原稿提出にあたり、以下の要領を熟読賜りますようお願い申し上げます。

なお、論文 I, 論文 II について、特に以下の点にご注意下さい。

- ① 論文 I は、原則 6 ページ以内のフルペーパーですが、論文委員会による発表可否の査読を行いません。論文誌 B への掲載を希望される論文は、各自で電子投稿・査読システム (<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/14-magazine/index030.html>) より B 部門大会特集号 (平成 25 年 1 月号予定) へ投稿して頂く必要があります。

注：論文 I に投稿していない論文は、特集号の審査対象となりません。その場合は、通常の投稿論文として受理致します。

また、論文 I については電気学会論文誌の執筆形式に則って作成してください。

- ② 論文 II は、2 ページであり、発表形式を「口頭発表」と「ポスター発表」の選択制と致します。申し込み時にどちらか一方を選択して下さい。ただし、ご希望に添えない場合も生じますことをあらかじめご了承下さい。

注) PDF化した講演原稿は、標準表示・印刷で判別できない文字等でも、拡大表示・印刷により記載内容が判別可能となることがあります。個人情報などの守秘事項の記載がないよう、十分にご注意下さい。なお、電気学会著作権規程第6条には(著作者の責任)として、「本会が編集または発行する著作物の内容については、その著作者自身が責任を負うものとする。」としています。

【インターネット講演申込登録要領】

1. 電気学会電力・エネルギー部門のホームページ (<http://www2.iee.or.jp/ver2/pes/>) を Internet Explorer 6.0 以降、または Netscape Navigator 6.0 以降を利用して開きます。
2. 「大会・研究会・行事」「部門大会」に進み、「平成 24 年電力・エネルギー部門大会」「部門大会講演申込」を選択します。講演申込の画面が表示されますので、「講演申込登録」を選択します。
3. 会員番号欄に電気学会の会員番号(半角)を入力します。電気学会会員以外の方は、会員番号を 0099999 (半角) とします。
4. 登録画面が表示されますので、「入力例を見る」を参考に画面中の指示や例に従い、必要情報を入力します。使用できる文字や特殊表記等は、本文中の注釈を参照して下さい。
5. すべて入力したら、「次へ」をクリックします。ここまでの入力内容の確認画面が表示されます。修正がある場合は前の画面に戻って修正します。登録内容の確認・修正ができましたら、「登録」ボタンをクリックします。
6. 登録が正常に受け付けられると、登録受理票が表示され、「受付番号」と「登録済内容にアクセスするためのパスワード」が発行されます。(この時点で、登録確認メールが発信されます。) 登録受理票は、今後の登録内容の確認・修正や原稿の提出(送付)のときに必要ですので、画面をプリントアウトなどにより必ず保存しておいて下さい。
7. 電子メールの受信を必ず確認してください。24 時間以内に電子メールが届かない場合は、ホームページ内にある FAQ をご確認ください。

【講演申込内容の確認・修正・取消要領】

登録済の講演申込内容は、受付期間中は確認・修正・取消が可能です。

1. 平成 24 年電気学会電力・エネルギー「部門大会講演申込」の画面から、確認・修正または取消を選択します。
2. 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力します。
3. 登録されている内容が表示され、内容を確認することができます。修正の場合は修正ボタンをクリックして、必要に応じて修正して下さい。修正した場合には「登録する」ボタンをクリックします。修正登録後、再度メールが配信されます。
4. 取消の場合は講演取消より受付番号とパスワードを入力すると、登録されている内容が表示されます。その内容を取り消しする場合は下の「取消」ボタンをクリックします。取消後、確認メールが配信されます。

【講演原稿 PDF 送信】

1. トップメニューから PDF 原稿送信を選んで下さい。
2. 上記講演申込時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力して、「次へ」をクリックして下さい。
3. 「参照」ボタンをクリックして、対象のファイルを指定し、送信ボタンをクリックして下さい。
4. ファイル指定欄には、直接ファイル名を入力しないで、必ず「参照」ボタンをクリックして選んで下さい。
5. 送信が正常に終了すると、受付終了画面が表示されます。
6. 送信が正常に終了すると、電子メールでも送信結果が配信されます。

＜ 注意事項 ＞

- ①. ファイルサイズが 2MB を超えるファイルは送信することができません。
- ②. PDF 送信は、必ず講演申込の手続きを済ませてから行ってください。
- ③. PDF ファイルにはセキュリティ設定をかけないで下さい。
- ④. 必ず拡張子 (.pdf または .PDF) が付いたファイルを送信してください。
- ⑤. ファイル名やディレクトリ名は、英数字または日本語のみを使用してください。半角カタカナ、スペース、ピリオド、スラッシュ、半角の記号 (¥, %, &, ", #, \$) などを含めないで下さい。
※ Windows の場合、デスクトップに置いた PDF は送信されないことがあります。
※ Windows の場合、My Document に置いた PDF は送信されないことがあります。
- ⑥. 複数の申込がある場合でも、それぞれ発行された受付番号に対応するファイルをお送り下さい。
- ⑦. 送信された PDF ファイルは、セキュリティの都合上閲覧することができませんので、必ず受付終了画面が表示されることと、画面内に表示されているファイルサイズをご確認下さい。
- ⑧. 締切までに講演用 PDF 原稿が送信されていない場合は、取り下げとします。

【PDF ファイルの差し替え】

一度送信された講演原稿 PDF は、受付期間中は差し替えることができます。

講演原稿 PDF 送信と同様の手順で送信してください。

※ 新たに送信されたファイルは元のファイルに上書きされます。

※ 差し替えとして送信されるファイル名は、以前に送られたファイル名と異なっても構いませんが、拡張子（.pdf または .PDF）を必ず付けて下さい。

【原稿作成要領】

電力・エネルギー部門大会ホームページの「電気学会部門誌への投稿手引き」中の〈原稿作成の手引き〉を参照しながら執筆して下さい。なお、最新の原稿作成手引きは電気学会のホームページ（<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/32-doc-kenq/new-toko.pdf>）にも掲載されています。

1. 原稿用紙

任意の白色の A4 版用紙を使用し、余白を上 25mm, 下 24mm, 左右各 16mm 設けて下さい。ワードプロセッサソフトなどを使用する場合は、9 ポイント（13 級）の文字を用い、字数は片段 1 行当たり 26 字、片段 50 行、2 段組、段の間隔は 10mm として下さい。

2. 分量

論文 I は図面、写真などを含めて 1 件 6 ページ以内を原則と致します。6 ページを超過する場合は著者には超過分の費用を負担いただきますが、その場合でも 14 ページを上限といたします。大会論文集の超過ページ費用は、1 ページ当たり 5,000 円といたします。

論文 II は 2 ページを厳守下さい。（字数は、1 枚当たり 26 字×50 行×2 段=2,600 字程度）

3. 配置

表題などを「見本」にしたがって下記の①～⑤に続けて本文を書いて下さい。

以下の説明で「何行目」などとありますのは、1 ページ 26 字×50 行×2 段を想定しております。

- ①. 表題：40 字以内。1 行分（20 字以内）の場合は、4 行目中央に記入。21 字以上で 2 行にわたる場合は 4 行目～6 行目の 3 行分の場所に適当に配置して下さい。
- ②. 会員種別、氏名、(所属)：2 名までは横 1 行に並べても結構です。3 名以上の場合は複数行にして下さい。
- ③. 英文による表題、氏名、会員種別、(所属)：左右に 3 字分のスペースを設けて下さい。論文 I では、著者所属・連絡先は第 1 ページ目左側の脚注に日本語・英語で併記して下さい。
- ④. 英文 Summary：論文 I のみ記入。150～200 語で、左右に 2 字分のスペースを設けて記入して下さい。
- ⑤. キーワード：論文 I のみ記入。6 個以内で、左右に 2 字分のスペースを設けて記入下さい。
- ⑥. 本文：原則として片段 1 行 26 字の 2 段組で記入。下記の順序で整理し、章の見出しのみ 2 行分を取って下さい。
- ⑦. 文献：文献の表記は原則として英文とし、本文末尾に通し番号をつけて一括記載し、本文中の該当部分には引用番号をつけて下さい。一般に公開されていない文書は文献として挙げないで下さい。

4. 本文

論文 I, II ともに和文または英文とします。

5. 文字の大きさ

表題と氏名は見本を参照して大きく書いて下さい。ワードプロセッサの場合は、1 項をご参照下さい。

6. 図および表

幅は 8 cm (片段) 分が基準ですが、特に重要な結果を示す図は最大 16 cm (両段) 以内で描いても結構です。

図表中の文字は原則として英文とし、表題に関して英文のみ記載して下さい。

Fig.1 ○○○○○ Table 1. ○○○○○ とし、

それぞれ図の下、表の上に記載。図、表の番号は、それぞれの通し番号として下さい。

【PDF ファイル作成にあたって】

1. ファイル形式

Adobe Acrobat Reader5.0 以上で表示、または印刷可能な PDF

2. ファイルサイズ (容量) の制限

ファイルサイズは、2MB 以内として下さい。2MB を超えると送信できません。また、ファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないで下さい。

3. ファイル名について

必ず拡張子 (.pdf または .PDF) が付いているファイルをお送り下さい。

4. 作成するアプリケーションと OS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。OS は Windows2000 以上または Macintosh10.3 以上を推奨します。

5. PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則として Acrobat 6.0 以降 (または同等品) を用いて作成します。作成方法については付属のマニュアル、または WEB 上の作成方法をご覧下さい。

Acrobat の詳細については <http://www.adobe.com/jp/> をご覧下さい。

6. 使用できるフォントの制限

原稿内に使用するフォントは以下に限定して下さい。

	Windows	Macintosh
日本語フォント	MS 明朝, または MS ゴシック	MS 明朝, MS ゴシック, またはヒラギノ
英字フォント	Century, Times, Times New Roman, Helvetica, Arial, Symbol	

※ どうしても他の書体を使用したい場合は、フォントの埋め込みを行って下さい。

※ Macintosh OSX をお使いの場合は、MS 明朝, MS ゴシック, ヒラギノをお使い下さい。

7. 使用できる文字

コンピューターの機種により文字化けが発生する可能性がありますので、漢字コードは第二水準以内の文字をお使い下さい。特に Macintosh をお使いの方は、ローマ数字や丸付き数字などの特殊記号については、必ず JIS コードをご利用下さい。

8. 色使い

文字も含め、色使いの制限は特にありません。ただし、モノクロプリンタで出力したものを印刷原稿として利用しますので、色によっては明確に出ない場合がありますので、十分注意して下さい。

9. 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF 化することにより、出力品質が劣化することがありますので、ファイルサイズ制限内で、PDF 化する際の解像度を高くして作成して下さい。

10. Acrobat を使用する場合

必ず Acrobat Distiller の機能を用いて作成して下さい。特にイラストや画像、数式、グラフ等を含む PDF ファイルの作成は PDF Writer を使用しないで下さい。解像度に問題が生じる場合があります。

※ ファイルサイズ制限内であればできるだけフォントが埋め込まれた PDF を作成してください。フォントの埋め込みは、Acrobat7.0 なら、高品質、プレス品質に設定して PDF を作成してください。出来上がった PDF ファイルは必ずプリントし、問題がないか確認してから送信して下さい。

【投稿論文のカテゴリー】

* 講演申し込みの際には、希望の発表セッションの参考とするため、「投稿論文のカテゴリー」を、下表の技術分野・技術内容からお選びください。例えば、技術分野が「電力系統の計画・運用・解析・制御」で、技術内容が「系統計画」の場合は（A-1）となります。

<p>(A) 電力系統の計画・運用・解析・制御</p> <p>(1) 系統計画 (2) 系統運用 (3) 需要予測 (4) LFC・需給制御 (5) 系統制御 (6) 発電機制御 (7) 電圧制御 (8) 電圧安定性 (9) 潮流解析・最適潮流計算 (10) 安定度解析 (11) 解析・シミュレーション技術 (12) FACTS (13) 直流送電 (14) 系統保護制御 (15) 機器保護 (16) 配電システム (17) 配電保護制御 (18) 運用・保守技術 (19) その他関連事項</p>
<p>(B) 電力自由化</p> <p>(1) 制度設計 (2) 電力市場の設計・解析 (3) 自由化環境下の計画・運用 (4) アンシラリーサービス (5) 電力市場の経済分析 (6) 混雑管理 (7) その他関連事項</p>
<p>(C) 分散形電源・新電力供給システム</p> <p>(1) 太陽光発電 (2) 燃料電池 (3) 風力発電 (4) 電力貯蔵設備 (5) 新電力供給システム (6) 運用・解析 (7) その他関連事項</p>
<p>(D) 電力用機器</p> <p>(1) 発電機 (2) 配電用機器 (3) 変圧器 (4) 遮断器 (5) 限流器 (6) 避雷器 (7) 超電導機器 (8) GIS (9) がいし (10) 高分子がいし (11) 監視・診断装置, センサ (12) 寿命予測 (13) 送電線 (14) 電力ケーブル (15) 大容量送電 (16) 電力用コンデンサ (17) その他関連事項</p>
<p>(E) 高電圧・絶縁</p> <p>(1) 高電圧測定 (2) 雷 (3) 雷対策 (4) サージ現象 (5) サージ解析 (6) 遮断アーク (7) アーク現象 (8) 絶縁材料 (9) 混合ガス (10) 電界・磁界・電磁解析ならびにシミュレーション (11) その他関連事項</p>

(F) 省エネルギー・環境・代替エネルギー (1)省エネルギー (2)熱電併給発電 (3)リサイクル (4)地域環境対策 (5)地球環境対策 (6)地熱発電 (7)波力発電 (8)メタンハイドレード (9)核融合 (10)その他関連事項
(G) エネルギー利用技術・エネルギー品質 (1)新たな電気・エネルギー利用技術 (2)供給形態の多様化・最適化 (3)エネルギーフロー (4)電力品質 (5)高調波対策 (6)瞬停対策 (7)その他関連事項
(H) 国際競争力向上のための技術開発 (1)海外市場調査・分析 (2)産学連携技術開発 (3)低信頼度地域向け技術開発 (4)その他 関連事項

【投稿論文の著作権について】

当大会論文集に掲載される論文については、著者全員は「電気学会論文誌への投稿の手引」の著作権・出版権に関する記述をご理解の上、以下の諸項に同意願います。

1. 著作権の電気学会への譲渡。電子メディア化する権利、翻訳権、翻案権、二次的著作物利用権を含む。
2. 論文 I への投稿論文に関しては、過去に公開されたことが無く、本質的な類似性を持つものも公開されたことが無く、かつ電気学会以外の出版物への公開を予定していないこと。
注：電気学会大会論文、研究会などの本学会主催の公開技術会合で発表されたものは、本項の制約とはならない。
3. 他の著作物の著作権を侵害していないこと。および、著作権許諾が必要な引用については無償での転載許諾を書面で得ていること。
4. 内容に本質的な貢献を行った人は、全て著者に含まれていること。
5. 必要な場合には、著者の所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。

なお、本書によって著作権の譲渡を行っても、以下の権利は著者の手元に残ります。

- * 著作権以外の例えば特許権のような権利
- * 著者が自分の業績をまとめる際に、その一部分として使用すること
- * 著者が営利を目的とせずに行う複製（例えば教育資料としての使用）
- * その他、日本の著作権法に反しない利用

【お問い合わせ先】

1. 大会に関する問合せ先

〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8F
 電気学会 事業サービス課 電力・エネルギー部門大会担当
 電話：03-3221-7313 F A X：03-3221-3704
 e-mail：pes24@iee.or.jp

2. システムに関する問合せ先

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-5-8 アクサンビル 2F
 トーヨー企画株式会社 電気学会 電力・エネルギー部門大会担当
 電話 03-3262-6605
 e-mail:pes12@gakkai-web.net